

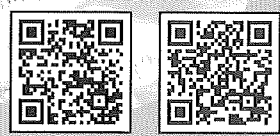


# 北海道教区報

第556号  
 発行所  
 天理教北海道教務支庁  
 札幌市中央区南8条西11丁目  
 電話011(561)-1148  
 F A X 011(561)-1190  
 E-mail:kyokur-h@vega.ocn.ne.jp  
 印刷  
 三浦印刷株式会社

夫婦そろって、家族集って、  
 教会こそって、老いも若きも  
**「オール天理」でひのきしん**

## 立教182年 全教一斉 ひのきしんデー 4月29日祝



お近くの会場は、「天理教ホームページ」または「教区・支部情報ねっと」でもご確認いただけます

信者さん方に、最寄りの会場日程など極め細やかなご案内を致しましょう  
 雪の季節から、日差しのある春に近づき、身体を動かして報恩感謝の心を行動に表す季節が、北海道にもやってきました。  
 本年より、天理時報に、全国で催される「音ひのきしんデー」の会場一覧が掲載されません。これまで「時報に出るから」という、声掛けで済みました。が、各信者家庭に、参加カードを送り「お宅は、29日に、近くの〇〇に」とお知らせする、きめ細かい対応が望まれるところとなりました。  
 スマホや、または、パソコンで、「天理教ホームページ」の「教区・支部活動ネット」という所を、検索すると、その信者家庭に近い、一番望まれる場所が、探し出せるでしょう。  
 教区からは、北海道の管内用に、会場一覧を、支部を通して、配布しますが、他教区など遠方の方には、それぞれに合った、対処をお願いいたします。  
 「ひのきしん」という、お道独自の「信仰の形」を、家族集って、教会こそって、広く世に映していきましょ。

北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

### 災救隊冬季訓練 雪害の町に明かりを 灯す活動に励む

道内は、今年も厳しい冬を迎え、暴風雪の日が多く交通障害も多発しているが、こうした中、恒例の冬季訓練が各地で展開された。



#### 《空知支部》

豪雪地帯として知られる空知支部では1月30日、31日の両日、赤平市・芦別市に於いて冬季訓練を実施。集合場所となった、本鏡分教会にて結隊式を行い、来賓として赤平市社会福祉協議会事務局長がいさつに立たれ「赤平市では、7年前にも活動くださったが、このように大勢の方にご協力をいただくことを感謝いたします」と述べた。

隊員は班ごとに分かれ、大型の投雪機やタイヤショベルを駆使し、更にはスコップなどの人海戦術で住民の要望に応じていった。

▼のべ参加人数 39名  
一般住宅の除排雪 11件

#### 《南空知支部》



こちらも道内有数の豪雪地帯である南空知支部では、1月30日、31日の両日、三笠市を中心に社会福祉協議会から要請のあった独居老人宅の屋根の雪下ろし、除排雪などの作業を実施した。この活動は、20数年継続して実施されている。市内にある幾春別分教会にて結隊式を行い、来賓として挨拶に立たれた三笠市社会福祉協議会会長は「毎年のみなさまの善意の心大変わりがたく感謝申し上げます。」

三笠市は高齢化が大変進み、除排雪をしてくださることによって、住民が安心して春を迎えることができる」と感謝の言葉を述べられた。その後2班に分かれた隊員は、1メートル50センチ近くとなった屋根の雪を手作りの投雪シューターで手際よく落したり、一階の窓が割れないように入念に確認しながら作業を進めた。

▼のべ参加人数 57名  
民家8軒 教会1軒

この2月は、史上最大級の寒波の襲来が報じられ、最低気温、最高気温も、連日のように平年以下。また、まとまった降雪も続き、日本海側では、「太陽が出ない日があっても、雪の降らない日はない」と、嘆く日が続いた。冬だから、雪は当たり前だと言っていた強気の方も、毎日重なり、腕も腰も、痛くなり閉口していた。そんな中、各地で高齢者や体の不自由な方のお宅を、社協の指示を仰いで、窓や通路の除排雪に向かい。

【1月訓練実施支部】  
空知、南空知

【2月訓練実施支部】  
天龍、富良野、上川、小樽  
(編集部把握分)

### 余市支部 「第5回おたすけ勉強会」 ― 身上たすけ・事情 たすけに取り組み ―

余市支部(森明支部長)では、1月31日午後1時半より4時まで積丹分教会を会場に「第5回おたすけ勉強会」が開催された。

▼参加者32名



取次の練習をした。第2部では、はじめに「傾聴について」と題して、臨床心理士よりお話をいただき、おたすけに寄り添うものの基本的な心構えを学び、その後各テーマに分けて6人制の練り合いがもたれた。テーマは『多重債務』『いじめによるうらみ』『対象喪失』『死の恐怖』など。ケーススタディ(具体的な事例)として実際に掲載された新聞の「人生相談」を利用し、練り合い司会者を中心に30分程度、一人ひとりが意見を述べ、最後に練り合い司会者が、自らの信仰的な思いを述べた。深刻な内容ではあるが、いつか訪れるかもしれない事情たすけについて思案を深めることのできた勉強会であった。



今回は、おさづけの取り次ぎ方を学ぶ「身上たすけ」、現代の難渋に寄り添う「事情たすけ」に焦点を当て開催された。第1部ではおさづけの取り次ぎ方のみに限定し、簡単な説明のうち、二人一組になって実際に

私は成人してから札幌で住むようになった者である。そんな私がある冬の日、雪の平原を歩くことがあった。目標はまっすぐ前方であつたから私はまっすぐ歩いた。ところが少し歩いたところで後ろを振り向いてみると、まっすぐ歩いたつもり私の足跡は曲がついていたのである。そのとき私は、人間は歩くまわりに目印がないとまっすぐには歩けないのだと感じた。それは後日、目印が両側にある条件のところを歩いて証明されたのである。

なく、他人との交わりを得てはじめて全人格的に成長させて頂くものである。そして正しい道がわかってくるのでもある。有能な独裁者、ワンマンも人と交わり、人の意見を聞く耳をもたなければ必ず心は狂うのである。

ある熱心で利口な信仰者が

### 教理随想 二十八 他人と共に

木岡 昭

私はこれは人間社会も同じようなものだと思つた。つまり他人と交わらず暮らすことは人生を歩む目印を失うようなもので曲がつてしまうものだと思つた。私達は同じ人間であるが、運命やいんねんの違いなど、すべてに於いて自分と異なる人々と共に生活を送っている。個性や感情の異なる心と心が交わって暮らしているのである。ところがこれは最も大切なことである。なぜなら他人と交わる事によつて自分の心が変わり成長するものだからである。教育は知識を身につけるだけのものでは

「私は駄目な人々の話は聞かない。一人で教理を求めていく」といつて教会を通しての信仰から離れた。それを聞いたある人が「いくら有能な人でも一人の考えはやがて曲がるからなあ」と云つた言葉が私の耳に残つた。幾年かしてその人は挫折してしまつた。

教祖は私達が本気で信仰していくのであれば、自分一人ではなく人々と共に講（人々が集う所）をつくつて成長することが望ましいと仰せられた。

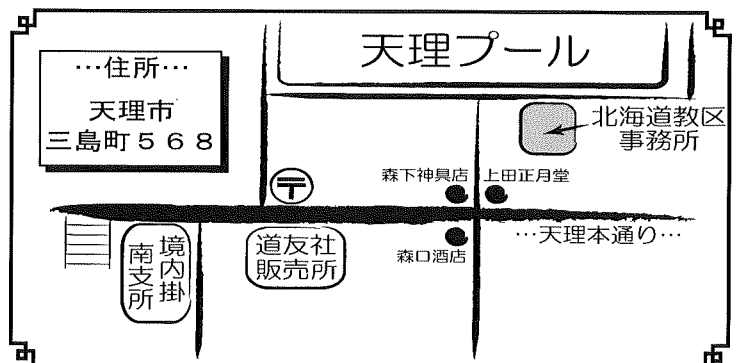
講とは現在は教会の事である。教会は教団の勢力のためのものでは断じてない。私達が、人間創造の元に思いをはせて「おつとめ」を人々と共につとめる所であり、教えを学ぶ所である。また運命の異なる人々と談じ合つて自分の心の成長をさせて頂く場所でもある。

私達の社会は、自分の損得で何事も多いに左右され他人との付き合ひは大変である。さらに私達はそれぞれにくせ性分が異なる誰とでも合うことは困難である。しかし、だからこそ自分の心が変わり成長させて頂く「種」がそこにはあるのである。自分の一人よがりでは絶対に成人はないのである。

人間は必然的に社会性を持つ存在として生かされていることを私達は自覚すべきである。異なる他人の心を思い、たすけあげようとする心こそ自分たすかる道でもある。

### 教区事務所移転のお知らせ

昨年秋季より、天理市川原城町にある「北海道教区事務所」の建物の傷みが目立ってきたため、御本部に代替の事務所を求めておりましたが、この度、おぢば近くの三島町に移転先のお許しをいただき、営繕課の工事も進捗し、3月末から使用できようになりました。移転につきましては、各教会からその費用を一部ご負担を頂きましたので、今後広くご利用いただけますようお知らせいたします。どうぞお立ち寄りください。



### 天理教婦人会創立110周年 会員決起の集い

立教182年/2019年

▼立教183年・来年の春に迎える創立110周年に向け、来年は全国各地で、決起の集いが開かれます。お近くの会場で、是非ともご参加ください。

- 5/1 統北分教会 (札幌市豊平区)
- 5/3 教務支庁 (札幌市中央区)
- 5/19 本輪西分教会 (室蘭市)
- 5/29 胆振分教会 (むかわ町)
- 6/1 雨龍大教会 (深川市)
- 6/16 網走大教会 (網走市)
- 6/23 稚内分教会 (稚内市)
- 6/30 北明分教会 (函館市)、人舞分教会 (十勝清水町)  
上川分教会 (旭川市)、夕張大教会 (岩見沢市)
- 7/14 教務支庁 (札幌市中央区・13時と18時の二回)

※開会時刻はいずれも13時 (7/14教務支庁だけ昼夜二回)  
対象：婦人会員、16歳以上の女性。

### 第29回 女子青年大会

立教182年/2019年

11月3日 [日・祝]

…おぢばで開催されます…

テーマ  
広げよう 信仰のよろこびを  
友達さそっておぢばへ帰ろう!

# 新会長さん紹介

(平成31年2月26日お運び)  
函館支部  
北湯川分教会(鳥ヶ原)

奉告祭 3月10日



工藤 徳 栄 氏  
(48歳)

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会  
毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。\*

※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式をおこなっております。

# 第3回 Missさくら会

☆日時 平成31年3月30日(土) 13時30分開始  
~3月31日(日) 13時解散

☆場所 北海道教務支庁

☆内容 盛りだくさん

着物着付け

主任先生のおはなし

グループワーク

女子会(トーク)

夜は焼肉パーティー

琴・三味線・胡弓(心得と実技)

お抹茶タイム

温泉(希望者)

☆持ち物 参加お供え500円

お琴の爪(ある人のみ)

着物(おつとめ着一式、無くても可)

※3月20日までに参加申込書を教務支庁へFaxして下さい。

## 学生会「真冬の集い」を開催

毎年恒例の「真冬の集い」が2月9日、10日の両日に亘って開催されました。

春学のDVD鑑賞や実際の動員活動。若者らしく外に出て、ビーチフラッグや雪遊びなどをして、交流を深めました。



今回私自身、委員長として最後の行事で、一緒にやってきたみなさんと悔いのないくらい楽しむぞ!、笑うぞ!を目標にした2日間でした。みんなキラキラな笑顔で楽しんでいる姿を見て、私も自然と笑顔になれました。こんな笑顔の絶えない行事を最後にたくさんの仲間と過ごす事が出来、とても幸せでした。

委員長 小川 莉穂

## 立教182年(2019年) 基礎講座北海道会場

### 開催日程

- 5月19日(日) 教務支庁会場
- 6月9日(日) 旭川支部会場
- 6月9日(日) 函館支部会場
- 6月30日(日) 宗谷支部会場
- 7月7日(日) 教務支庁会場
- 9月8日(日) 教務支庁会場
- 11月10日(日) 教務支庁会場

(追加会場については、随時発表していきます。)

### 計報

- ・國松 實様 10月3日出直 (83歳) 小樽支部長
- ・元教区主事 北鳳分教会元会長 (函館支部)
- ・出雲 道勇様 11月16日出直 (87歳) 景勝園分教会長
- ・北真夕分教会元会長 (南空知支部)
- ・堀江 顯二様 12月15日出直 (76歳) 小樽支部長
- ・山洋分教会長 (小樽支部)
- ・島田 孝太郎様 12月16日出直 (88歳) 御用始め
- ・光和分教会長 (釧根支部)
- ・木村 征範様 12月19日出直 (76歳) たすけ推進会議
- ・蘭島分教会長 (余市支部)
- ・砂川ともる様 12月27日出直 (100歳) 支部長会議
- ・誠養分教会元会長夫人(苦小牧支部)
- ・中村 男子様 1月3日出直 (80歳) 任命願書発送
- ・北統分教会元会長夫人 (小樽支部)
- ・今井 弘美様 1月14日出直 (57歳) 事情願書発送
- ・北鷹分教会長夫人 (旭川支部)
- ・島村 佳嗣様 1月17日出直 (88歳) 事情願書発送
- ・元宗谷分教会長 (宗谷支部)
- ・高橋 義清様 2月1日出直 (69歳) 事情願書発送
- ・北海道教務支庁日誌抄 (12月20日、2月20日) 教区報編集会議
- ・2月1日 たすけ推進会議
- ・2月2日 支部長会議
- ・4日 任命願書発送
- ・10日 事情願書発送
- ・19日 教区報編集会議
- ・26日 本部春季大祭遙拝式
- ・27日 教区長会議
- ・30日 図書修理会
- ・20日 教区報編集会議